

Nitto

Innovation for Customers

第161期 第2四半期のご報告

2025年4月1日～2025年9月30日



TOP MESSAGE

トップメッセージ

代表取締役 取締役社長
CEO COO

高崎 秀雄



トップメッセージの太文字部分をクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧ください。

2025年度上半期を終えて

2025年度上半期における経済環境は、米国のトランプ大統領による一連の関税措置が世界各国の経済や貿易政策に混乱をもたらしましたが、主要国間で一定の合意が進展したことで、先行きの不透明感は徐々に緩和しつつあります。米国では、インフレ再燃への懸念が残る一方で、関税引上げによる物価への影響がまだ顕在化していない中、雇用情勢の悪化を受けて、連邦準備制度理事会（FRB）は9月に利下げを実施しました。なお、為替相場は、前年同期と比較して円高で推移しました。

このような状況の中、Nittoグループの主要な市場では、IT機器やハイエンドスマートフォンにおいて、米国による追加関税の実施猶予期間中に一部前倒しでの生産が進み、当社製品の需要が増加しました。また、核酸受託製造分野では、大型疾患に関する案件が臨床段階から商用化ステージへと移行し、収益の改善が進みました。一方で、上半期の対米ドル為替レートは、前年同期と比較し4.7%円高の1ドル146.4円となり、営業利益105億円の減益要因となりました。

以上の結果、2025年度上半期の業績は、前年同期比で売上収益1.6%減の5,136億円、営業利益13.5%減の945億円となりました。なお、通期業績は、売上収益9,950億円、営業利益1,730億円を見込んでおります。

2025年度のNittoグループを取り巻く外部環境は依然として大きな変動が続いていますが、次なる成長に向けた新たな芽が着実に育ちつつあります。例えば、欧州において「Right to Repair（修理する権利）」が法制化されたことを契機に、昨年度より販売を開始したスマートフォン向けバッテリー固定用電気剥離テープは、今年度、採用モデルの拡大につながりました。今後は、新規顧客の開拓や用途の拡大を通じて、さらなる事業成長を目指してまいります。また、ハイエンドスマートフォン向け高精度基板については、既存用途に加え、新たな用途への展開が決定しており、来年度以降の業績への大きな貢献が期待されています。さらに、HDD向けCISFLEX™や車載ディスプレイ向け光学フィルムなど、当社が高い市場シェアを有する製品においても、構造的な成長が見込まれています。これらの成長分野に向けた準備を着実に進め、持続的な成長に向けて力強く前進してまいります。

Nittoグループの企業価値向上に向けて

経営トップの使命は、持続的に企業価値を高めていくことです。そのために、私は、すべてのNitto製品が**PlanetFlags™ / HumanFlags™（環境・人類貢献製品）**としてあらゆる分野ではためき、Global Niche Top™製品やArea Niche Top™製品となること、つまりは、「社会課題の解決と経済価値の創造の両立」を実現し、高収益企業であり続けることを目指していきます。このような考えのもと、2025年度は、中期経営計画「Nitto for Everyone 2025」を仕上げるとともに、2030年ありたい姿の実現を見据えた次期中期経営計画の策定を進めます。

Nittoグループは、これからも持続的な企業価値向上に向けたチャレンジを続け、ステークホルダーの皆様幸せを感じてもらえる会社を目指します。引き続き、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

利益還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的に水準を確認し、総合的に勘案して使途を定めていきます。2025年度の年間配当金は、1株につき年間60円を予定しております。なお、中間配当金は30円とさせていただきます。

TOPICS 1 バッテリー固定用電気剥離テープ

EU加盟国で資源循環型社会の構築を見据えた「Right to Repair(修理する権利)」が法制化されたことを背景に、2024年、当社の「電気剥離テープ」が世界で初めてスマートフォンのバッテリー固定用途で採用されました。この製品は、貼り合わせると強固に接着し、剥がしたい時に微弱の電圧をかけると、周りの部材を傷つけることなくきれいに剥がれる特性を持っており、これまでよりもバッテリーを簡単に修理・交換できるニーズに対応しています。2025年は採用機種拡大が進んでおり、今後はエレクトロニクスデバイスにとどまらず新たな需要の創出を目指すとともに、資源循環型社会への貢献と売上の拡大を図っていきます。



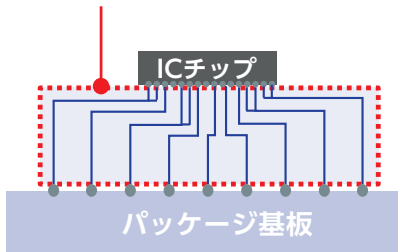
TOPICS 2 IBM社と先端半導体領域の研究に関する共同開発契約を締結

Nittoグループは、IBM社と先端半導体領域の研究に関する共同開発契約を締結しました。近年、AIの普及に伴い半導体市場が拡大し、チップレット方式によるAI向けパッケージ基板の開発が進んでいます。一方で、インターポーザー再配線層の高密度化やパッケージ基板の大型化による反りや熱膨張といった新たな課題も顕在化しています。Nittoグループの材料開発やモノづくりノウハウと、IBM社の設計技術や最先端設備を融合させることで、AI時代のニーズや課題に応える先端半導体の研究開発を加速させていきます。

チップレット方式の導入



インターポーザー再配線層 (ICチップとパッケージ基板を繋ぐ役割)



Nitto

新規材料開発

モノづくりノウハウ



IBM社

先端半導体設計

最先端設備

TOPICS 3 TNFD提言に賛同し、環境課題への取組みを促進

Nittoグループは、持続可能な環境・社会の実現に向け、「生物多様性の保全」を重要な環境課題のひとつとして認識しています。この課題への対応として、事業活動における自然への依存・影響および自社へのリスク・機会を評価・特定し、TNFDフレームワークに沿った情報開示^{※1}を開始しました。

今後は、特定されたリスクの最小化や機会の最大化を図るべく対応策を実行するとともに、ステークホルダーの皆様との対話を進めていきます。



**Taskforce on Nature-related
Financial Disclosures**

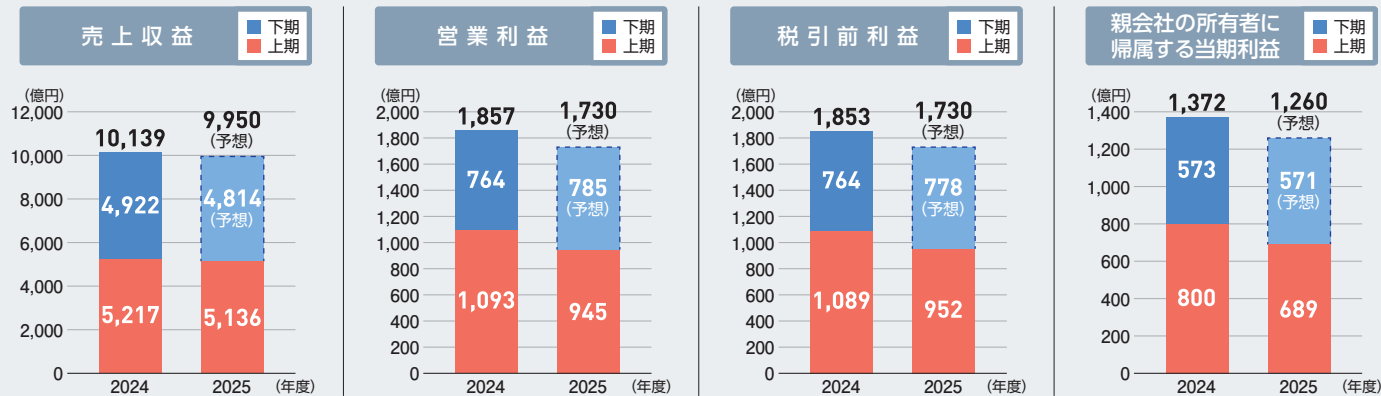
TNFD=自然関連財務情報開示タスクフォース

※1 2025年8月より情報開示を行っております。

太字部分をクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧いただけます。

業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。
※数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。



海外売上収益比率 ※1

86.3%

海外売上収益 4,430億円
国内売上収益 706億円

※1 2025年度上半期連結売上収益に
占める海外での売上収益の割合

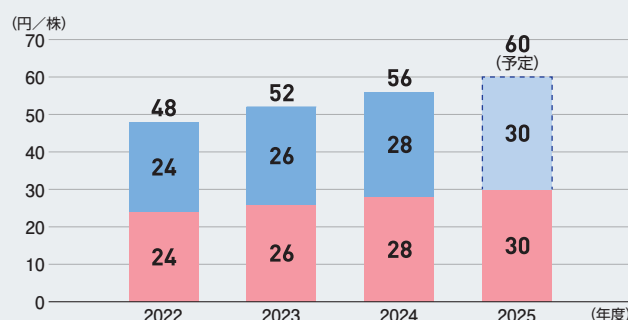
自己資本比率 ※2

79.0%

自己資本 10,481億円
総資産 13,269億円

※2 2025年度上半期(9月末時点)の
総資産に占める自己資本の割合

1株あたり配当金



ポイント

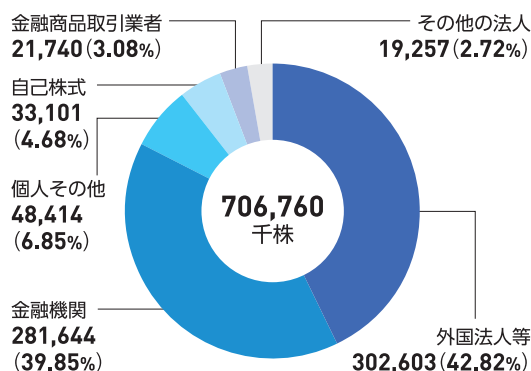
- 1 ハイエンドスマートフォン向け組み立て用部材は、バッテリー固定用電気剥離テープの採用モデル拡大により需要が増加
- 2 IT機器向け光学フィルムの需要は増加する一方で、LCDスマートフォン向けは戦略的撤退を実行
- 3 ハードディスクドライブ市場において需要が急速に回復した前年と比較して、CISFLEX™の出荷が減少
- 4 核酸受託製造において、臨床段階から商用化ステージに移行した大型案件の生産を開始

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行済株式の総数 706,760千株
株主数 30,231名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 表紙写真：豊橋事業所

株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式SNSでも情報を発信しております。



上記のURLや二次元コードをクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧いただけます。